

ライダーズ・イン・ザ・スカイ

新潟県央工業高校（旧三条工高）山岳部OB会発行 2013. 6. 20 NO. 76

3年連続の最優秀校 通算 25 回目のインターハイへ

齋藤文比古 監督よりの報告



今年も「最優秀校」に選ばれ、8月の大分インターハイの出場権を獲得することができました。何度も山行に同行して下さった齋藤会長、元コモの和田先生、テント設営・生活の指導をして下さった武藤コーチをはじめOB皆様のご協力と心強い激励に支えられ、最高の成果を上げることができました。心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

以下に県総体の概要を報告します

大会コース 五頭連峰周回コース（五頭連峰少年自然の家～赤安山～五頭山～松平山～山葵山～少年自然の家）

CL土田（気象 3年） SL平瀬（天気図 2年）

近藤（自然・観察 3年） 相場（救急 3年）

5/30(木) 学校出発前に吉田先生の激励を受け、いざ五頭へ。去年の3年生が着たオレンジの山シャツを着ての出陣。メンバーの表情は堅くかなり緊張している面持ち。開会式後ペーパーテストを終えようやくいつもの表情に。この後、設営、炊事審査を終え、1日目終了。

なお炊事審査は小雨のためキャンプ場の屋根のかかった炊事場で行われ調理台の上で炊事審査が行われた。

5/31(金) 登山行動日。4:30 起床、6:10 出発。7:24 赤安山、8:55 五頭山、10:41 松平山、11:34 山葵山、12:47 五頭連峰少年自然の家。ハイペースな班長のリードに苦しめられたが、2年生の平瀬もきちんと歩き通すことができ無事下山。昨日までの雨の影響で歩きづらい箇所が多々あり、本校も含めしりもちをつく選手が続出。下山後、設営、炊事、ロープワークの審査が行われた。

6/ 1(土) 閉会式。救急を除くすべての項目で最高得点をあげることができ、結果、84.5点を獲得。2位の長岡大手高校に4.2点の大差をつけて最優秀校に選ばれる。

メンバー4人が見事本番で力を発揮することができ、最高の結果を得ることができた。近くで見守る監督の印象としては、これまでの山行と比べれば確実に集中して落ち着いて行動できていた。大会中何度か彼らと話を交したが、こちらの話すことが素直に胸の中へ届いているなど感じられた。純真無垢な4人の姿がとてもすがすがしく格好良かった。静かに心から声援を送りながら応援し続けた県総体であった。

最優秀校おめでとう。選手諸君よく頑張った。

サポートしてくれた1・2年生のみんな、君たちのおかげです。本当にありがとうございます。みんなでもた練習しよう。

OBの皆様。日々部員たちは頑張っています。今後も応援よろしくお願いします。



左から 平出コーチ 選手 齋藤監督

大分大会にむけてカンパのご協力を

今年の大分大会は8月2日開会式で、久住山、中岳、大船山山域で開催され、6日に閉会式の予定です。出場校は 男子：新潟県央工高 女子：新潟中央高校 です。

今年も「全国大会カンパ」をお願いいたします。送金は同封の郵便振替用紙でお願いします。この用紙を使うと手数料はかかりません。用紙の通信欄に激励や短信をお書きください。選手に紹介しています。皆さんの激励をお願いします。

口座番号 00660-3-6064

口座名義 新潟県央工業高校山岳部OB会

今年山岳部創設50周年

昭和38年4月11日に三条工業高校に入学した1回生は、仮校舎であった三条実業高校（現三条商業）で実高山岳部の指導のもとに部活動を始めました。そして10月10日の校舎移転に伴って、部活動も単独活動になったとのことです。（斉藤勲会長談より）今年で満50年です。

創設50周年に何をすべきか、何を残すべきか、ご意見をお寄せください。

今年山岳部 1年生2人が入部

新人2人の入部でスタートしました。2年4、3年4人の10人です。顧問：齋藤、平出、齋藤、菊池、石川。（写真は新人歓迎登山の五頭山 斉藤会長も同行）



激励が寄せられています（OB会HPの掲示板より）

6/1 守門山麓で山菜取りに興じていた時に、齋藤先生から携帯に留守電が入っていた。

前年インターハイ優勝のプレッシャーを背負いつつの県総体・最優秀校、物怖じせず実力を発揮したこと評価に値することと思います。まずはおめでとうございます。更に大分インターハイに向け精進されることを願うものであります。

それにしても、春山合宿で「今年は狙う。」と公言していた眞島先生の長岡工高が長岡大手、新潟、三条と共に優秀校となり言葉とお肉薄してきた。本校の諸先生方も含め「山岳部顧問の指導力恐るべし」と思う。S41年卒（1回生）斉藤勲

五頭山での県総体で最優秀校、夏の大分インターハイの切符を手に入れましたね。

この夏がまた、楽しみになりました。

後輩たちの活躍がまた、私の山歩きの励みになります。S43年工業卒（3回生）渡辺五郎

大変おめでとうございます！！

部員の皆さんの頑張りはもとより、顧問の先生方やOB諸氏ほか、多数の皆さんの支えがあつての輝やかな成績と感じており、私も陰ながらできることで応援させていただきます。26回生の猪熊尚洋です。

OB会ホームページをご覧ください

寄稿、40周年誌、お知らせなどを掲載。（新潟県央工業高校山岳部OB会で検索）掲示板にはたっぷりの山情報などがあります。掲示板は携帯からも書き込めますからご利用ください。掲示板のID、パスワードは郵送版に記載されています。

斉藤会長から「新潟大会も終わって、部も50周年、あらためて部の存在目的を確認する時ではないか」との助言で、全国大会と三条工高から受け継いできた県央工高山岳部のテーマを掲載します。

登山大会成績評価実施要領（抜粋）

登山大会は、正しい高校生登山の在り方を求め、その着実な展開と研究を主目的として安全登山を推進するためのものである。単に優勝を競い順位を争うものでなく、大会の主旨を尊重し、登山の基礎的な技術・態度を着実に実践できることを主眼として行うものである。

部のテーマ

四季を通じて健全な登山（精神・技術を含めて）を教えること。

その登山は、社会人になって登山のリーダーとなり得ること。

大会はその励みと実力テストである。

※吉田は3月末で定年退職し、現在、校内にある同窓会事務局の専従・事務局長をしています。移植後4年目をクリアしました。

（作成：吉田光二）